

# 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業について

平成25年3月13日 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長裁定より

近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、当機構においては、関係機関と連携を図りながら、子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに大切であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める「体験の風をおこそう」運動を展開している。

各地域においてこの運動が推進されるように、青少年教育施設を中心として、都道府県・市区町村等地方公共団体（以下「地方公共団体」という。）、学校、青少年団体、企業、NPO 法人等が連携し、子どもたちに体験活動の機会を提供する「体験の風をおこそう」運動を推進する。

上記の趣旨に基づき、国立岩手山青少年交流の家では、平成25年度から地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業として、

## いわてしぜんとおそほキャンプ in テンパーク

を実施している。



平成 25 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業  
アウトドアチャレンジ「岩手しぜんとあそぼキャンプ in テンパーク～秋編～」

実施概要報告

## 1 開催の趣旨

東日本大震災津波から 2 年を経過し、復旧復興の努力が各方面から進められているが、当実行委員会も被災地の子どもたちを対象としたグリーンケアキャンプを被災当初から実施してきた。

被災地では、校庭や公園も仮設住宅でふさがってしまうなど、十分な遊びや体験活動ができない生活を余儀なくされている。特に「天真爛漫」を本望とする子どもたちは、復興のために必要以上の我慢を強いられ、つらい思いをしているので体験の機会と場を拡充し提供する必要がある。

また、深い悲しみと喪失感により、子どもたちの症状もさまざまであり、回復には時間を要することから、心のリフレッシュ（グリーンケアの一助）を図る本事業を継続していく必要がある。

そこで、岩手県被災地域の子子どもたちが、悲しみを乗り越える一助となるように、県内の諸団体と協働して開催する「野外活動を主体としたキャンプ」を企画し実施する。今年度は、対象地域を拡大し釜石市、大槌町に加え大船渡市の児童も対象とする。

## 2 事業の目的

東日本大震災津波の被災地域の子子どもたちに対して、豊かな自然の中での野外活動体験を提供し、心のリフレッシュを図ると共に震災を乗り越える一助とする。

## 3 主催

アウトドアチャレンジ岩手県実行委員会

<構成団体> NPO法人岩手県レクリエーション協会、岩手県キャンプ協会  
岩手県シェアリングネイチャー協会、NPO法人盛岡YMCA  
ガールスカウト岩手県連盟、日本ボーイスカウト岩手連盟  
国立岩手山青少年交流の家

## 4 協力

ルーテル学院大学、乗馬とアニマルセラピーを考える会（馬っこパーク・いわて）、

全国乗馬倶楽部振興協会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、

NPO法人未来図書館、株式会社ユニバーサルコンピュータシステム、アメリカアーズ

## 5 後援

岩手県教育委員会、釜石市教育委員会、大船渡市教育委員会、大槌町教育委員会

## 6 実施場所

国立岩手山青少年交流の家「テンパーク」

〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字後292

## 7 事業日程 平成 25 年 11 月 2 日(土)～4日(月・祝日)

8 参加者 80名(釜石市・大槌町・大船渡市の小学4～6年生)※希望者107名から抽選

学 校 名	学年	男子	女子	学校別計	備 考
大槌町立大槌小学校	6年	1	0	4	
	5年	0	3		
大槌町立吉里吉里小学校	5年	0	2	3	
	4年	1	0		
釜石市立栗林小学校	6年	0	1	1	
釜石市立鶴住居小学校	6年	0	1	2	
	4年	1	0		
釜石市立平田小学校	4年	0	2	2	
釜石市立白山小学校	6年	4	2	7	
	5年	1	0		
釜石市立釜石小学校	5年	0	5	5	
釜石市立双葉小学校	6年	1	3	6	
	5年	0	1		
	4年	0	1		
釜石市立小佐野小学校	6年	0	2	3	
	5年	1	0		
釜石市立甲子小学校	6年	0	2	12	
	5年	3	6		
	4年	1	0		
釜石・大槌小学校(10校) 合計		14	31	45	
大船渡市立起喜来小学校	4年	0	1	1	欠席(バスに乗車できず)
大船渡市立立根小学校	6年	4	0	5	
	4年	1	0		
大船渡市立猪川小学校	6年	0	1	4	
	4年	1	2		
大船渡市立大船渡小学校	6年	0	2	13	
	5年	1	6		
	4年	0	4		
大船渡市立蛸の浦小学校	6年	1	0	1	
大船渡市立大船渡北小学校	6年	0	6	12	
	5年	1	4		
	4年	1	0		
大船渡小学校(6校) 合計		10	26	36	

9 参加費 一人 3,000円

10 集散及び移動手段

釜石市内・大槌町内・大船渡市内に5～6箇所の集散場所を設置し、集散場所より会場まで貸切バス2台にて送迎した。(片道約3時間)

## 11 プログラム日程

	11月2日(土)	11月3日(日)	11月4日(月)
午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定場所に集合</li> <li>・大槌, 釜石方面1台</li> <li>・大船渡方面1台</li> <li>・大学生ボランティアは9:30集合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリームキャッチャーづくり</li> <li>・ウオークラリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗馬体験</li> <li>・動物とのふれあい</li> <li>・遊びりんピック</li> <li>・3日間の反省とまとめ</li> <li>・アンケート記入</li> </ul>
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式(弁当持参)</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・アイスブレイク</li> <li>・レクゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーゲーム</li> <li>・おやつづくり</li> <li>・自分への手紙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食(弁当・車中)</li> <li>・解散</li> <li>・帰宅</li> </ul>
夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星空観察</li> <li>・1日目の反省</li> <li>・2日目の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンドルのつどい</li> <li>・2日目の反省</li> <li>・3日目の準備</li> </ul>	

## 12 準備等(実行委員会等)

- (1)第1回実行委員会 平成25年4月7日(日)平成24年度冬編評価反省と25年度計画
- (2)第2回実行委員会 平成25年5月11日(土)前年度岩手県への実績報告及び今年度事業計画  
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業について
- (3)第3回実行委員会 平成25年6月8日(土)「遊びの広場 in 釜石」の報告  
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業採択結果について  
寄付金の見込みについて
- (4)後援申請手続き 平成25年8月中
- (5)第4回実行委員会 平成25年8月24日(土)プログラム計画、募集要領
- (6)参加者募集 平成25年9月2日(月)～10月8日(火)
- (7)第5回実行委員会 平成25年10月19日(土)スタッフ及び参加者班編成
- (8)第6回実行委員会 平成25年11月1日(金)直前準備、スタッフ研修  
※ 実施日 平成25年11月2日(土)～4日(月祝)
- (9)第7回実行委員会 平成25年11月16日(土)事後評価・反省 冬編計画

## 13 スタッフ

- ・61名(プログラムスタッフ, マネジメントスタッフ, キャンプカウンセラー, 他)
- ・諸団体・諸組織から推薦を受け編制し, 事前にグリーンケアについての研修を行った。



グリーンケア研修



参加者・スタッフ集合写真



遊びりんピック

平成 25 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業  
アウトドアチャレンジ「岩手しぜんとあそぼキャンプ in テンパーク～冬編～」

実施概要報告

1 開催の趣旨

東日本大震災津波から 2 年を経過し復旧復興の努力が各方面から進められているが、当実行委員会も被災地の子どもたちを対象としたグリーンケアキャンプを被災当初から実施してきた。

被災地では、校庭や公園も仮設住宅でふさがってしまうなど、十分な遊びや体験活動ができない生活を余儀なくされている。特に「天真爛漫」を本望とする子どもたちは、復興のために必要以上の我慢を強いられ、つらい思いをしているので体験の機会と場を拡充し提供する必要がある。また、深い悲しみと喪失感により、子どもたちの症状もさまざまであり、回復には時間を要することから、心のリフレッシュ(グリーンケアの一助)を図る本事業を継続していく必要がある。

そこで、岩手県被災地域の子子どもたちが、悲しみを乗り越える一助となるように、県内の諸団体と協働して開催する「野外活動を主体としたキャンプ」を企画し実施する。今年度は、対象地域を拡大し釜石市、大槌町に加え大船渡市の児童も対象とし11月に秋編を実施し、今回は1月に冬編を実施する。

2 事業の目的

東日本大震災津波の被災地域の子子どもたちに対し、豊かな自然の中での野外活動体験を提供し、心のリフレッシュを図ると共に震災を乗り越える一助とする。

3 主催

アウトドアチャレンジ岩手県実行委員会

<構成団体>

NPO法人岩手県レクリエーション協会、岩手県キャンプ協会

岩手県シェアリングネイチャー協会、NPO法人盛岡YMCA

ガールスカウト岩手県連盟、日本ボーイスカウト岩手連盟

国立岩手山青少年交流の家

4 協力

株式会社ユニバーサルコンピューターシステム、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、  
ルーテル学院大学、NPO法人未来図書館、アメリカアーズ、  
乗馬とアニマルセラピーを考える会(馬っこパーク・いわて)、全国乗馬倶楽部振興協会、

5 後援

岩手県教育委員会、釜石市教育委員会、大船渡市教育委員会、大槌町教育委員会

6 実施場所 : 国立岩手山青少年交流の家「テンパーク」

〒020-0601 岩手県滝沢市後292

7 事業日程 : 平成 26 年 1 月 11 日(土)～13 日(月・祝日) 2泊3日

8 参加者: 84 名 (釜石市・大槌町・大船渡市の小学4～6年生を対象とする。)

応募者は 115 名であったが、抽選し 97 名に参加者決定通知を送付。その後キャンセル等により最終的に 84 名の参加となった。内訳は次の通りである。

・大槌町 5 名(吉里吉里小 4 名, 大槌小 1 名)

・釜石市 34 名(鶴住居小 1 名, 釜石小 4 名, 白山小 3 名, 平田小 2 名, 双葉小 14 名,  
小佐野小 1 名, 甲子小 9 名)

・大船渡市 45 名(盛小 1 名, 大船渡小 8 名, 末崎小 4 名, 赤崎小 1 名, 猪川小 5 名,  
立根小 17 名, 大船渡北小 5 名, 綾里小 2 名, 越喜来小 1 名, 吉浜小 1 名)

9 参加費 : 児童 1 人 3,000 円

## 10 集散および移動手段

釜石市内・大槌町内に各2～5箇所及び大船渡市内に1箇所の集散場所を設置し、集散場所より会場まで貸切バスにて送迎する。(片道約3時間)

## 11 プログラム日程

	1月11日(土)	1月12日(日)	1月13日(月)
午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定場所に集合</li> <li>・大槌 釜石 1台</li> <li>・大船渡 1台</li> <li>・大学生ボランティアは9:30集合、研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーゲーム パート1 雪の原っぱで元気に!</li> <li>・ネイチャーゲーム パート2 ホールで楽しく!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗馬や小動物とのふれあい</li> <li>・遊びリンピック</li> <li>・3日間のふりかえり</li> <li>・アンケート記入</li> </ul>
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食(車中で持参弁当を)</li> <li>・開会式</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・アイスブレイク</li> <li>・班作り「お互いを知ろう」</li> <li>・レクゲームを楽しもう!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪で遊ぼう!</li> <li>雪灯り作りやチューブすべりやそりすべりを楽しもう!</li> <li>・おいしいアイスクリーム作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食</li> <li>・解散</li> <li>・帰宅</li> </ul>
夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームナイト みんなでゲームをして仲良くなろう!</li> <li>・1日目の反省と翌日の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜の集いみんなで楽しい思い出をつくりましょう!</li> <li>・2日目の反省と翌日の準備</li> </ul>	

## 12 準備等 (実行委員会等)

11月16日(土)第7回実行委員会(募集要項の確定)国立岩手山青少年交流の家

11月24日(日)募集案内送付(12月5日締め切り)

12月7日(土)10:00～12:00 第8回実行委員会

(参加者の確定、プログラム内容の決定)岩手山青少年交流の家

12月11日(水)参加者への案内発送

1月10日(金)第9回実行委員会(最終調整会議)岩手山青少年交流の家

1月11日(土)～13日(月) 岩手しぜんとかそぼキャンプ in テンパーク～冬編～

2月1日(土)第10回実行委員会(冬編及び事業全般評価会、来年度計画)青少年会館

3月9日(日)第11回実行委員会(同上)国立岩手山青少年交流の家

3月 独立行政法人国立青少年教育振興機構へ委託完了報告書提出(事業終了2月末)

## 13 スタッフ

40名程度(プログラムスタッフ、マネジメントスタッフ、キャンプカウンセラー、他)

諸団体・諸組織から推薦を受け編成し、事前にグリーンフェアについての研修を行った。



雪に寝転び、人型作り



レクリエーション



みんなで作った雪灯り